広報かしば
2
2022
2.21
No.656

KASHIBA

30th KASHIBA Anniversary 1991-2021

新型コロナウイルス感染症が急拡大しています。そのような中、県や市では相談窓口を設け、自宅待機・自宅療養中のかたへの支援や感染症・ワクチン接種に関すること、生活資金の困りごとなど、各種相談に応じています。

お一人で悩まず、まずはご相談ください。

コロナ総合案内　☎44−3325（企画政策課）

自宅待機・自宅療養中のかたへの支援に関すること

☎44−3305（危機管理課）
☎76−2001（土・日・祝日）

コロナワクチン接種に関すること

☎77−3965
（保健センター）

生活資金などの困りごとに関すること

☎76−7107
（香芝市社会福祉協議会）

陽性者と接触したかた、濃厚接触者の定義についてお知りになりたいかたの相談窓口

（奈良県ホームページ）

☎0742−27−1132 FAX0742−27−8565
（奈良県新型コロナ・発熱患者受診相談窓口）

困りごとに対する支援策が探せる　支援情報ナビ

(内閣官房ホームページ)

新型コロナウイルスに関連した詐欺的な消費者トラブルについての相談

☎0120−797（なくな）−188（いやや）（新型コロナ関連詐欺　消費者ホットライン）

＊電話がつながりにくい時間帯は「消費者ホットライン☎188」もご利用ください。

引き続き、感染症対策にご協力をお願いします。

今月の表紙

新型コロナウイルス感染症が急拡大する中、自宅待機・自宅療養中のかたへの支援やワクチン接種に関すること、その他感染に関するさまざまな疑問や不安に対応する各種相談窓口についてお知らせしています。

CONTENTS
もくじ

03 新型コロナウイルスワクチン情報

04 特集
認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して
レッツ、オレンジ

07 ひと・まち・かしば
○消防出初式
○高校生の本棚
○ニ上山博物館企画展と関連事業
○国際交流啓発パネル展

08 ２０年分の感謝、そして未来へ
令和４年　香芝市成人式

11 市民ペンリレー／パパッと簡単クッキング

12 今昔アルバム

ひとの動き
―１月末日現在―

人口	78,994人（前月比＋13人）
男	37,722人（前月比＋14人）
女	41,272人（前月比－1人）
世帯数	32,136世帯（前月比＋14世帯）

香芝検定
知っとこかしば!!
certificate examination for KASHIBA

平成３年１０月１日に市制施行された後に新町名となったのはどの地区でしょうか。

①　逢坂一丁目～逢坂七丁目

②　白鳳台一丁目～白鳳台二丁目

③　真美ヶ丘一丁目～真美ヶ丘七丁目

④　藤山一丁目～藤山二丁目

（答えは１１ページにあります）

市ホームページやＦａｃｅｂｏｏｋ、ＬＩＮＥでも市の情報を発信しています。

○市公式ホームページ
URL　http://www.city.kashiba.lg.jp/

○市公式Ｆａｃｅｂｏｏｋ
URL　https://www.facebook.com/香芝市役所-329720634057435/

○市 LINE 公式アカウント
アカウント名　香芝市
アカウント ID　@ kashiba.city

＊広報かしばは市ホームページでご覧になれます。

「録音ボランティア山びこ」による音訳広報があります。
詳しくは社会福祉協議会ボランティアセンターへ。
☎７６－７１７９

次回発行は、お知らせ版 ３月７日（月）広報かしば ３月２２日（火）

新型コロナウイルスワクチン情報（2月14日時点）

◆予約（集団接種）・問合先　新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター［受付時間：9：00～17：00（土・日・祝日を除く）］
☎44－8970　FAX76－6775　※お電話の際は、おかけ間違いのないようお願いします。

新型コロナウイルスワクチンには、入院や重症化のリスクを低減する効果があることが報告されています。

感染が急拡大する中、県が設置する広域接種会場や国が設置する大規模接種会場など、接種加速にむけた取組が進められており、本市においても、65歳未満のかたの追加（3回目）接種の接種間隔を6か月に前倒ししました。

1・2回目と違うワクチンを接種する交互接種は諸外国でも実施されており、効果がある旨報告されていますので、ワクチン接種につき前向きにご検討くださいますよう、お願いします。

◆追加（3回目）接種間隔

18歳以上の全てのかたが、**2回目接種より6か月経過後**に接種できます。

例）2回目接種を令和3年9月10日に終えたかた　⇒　令和4年3月10日以降、接種できます

◆接種会場

	場所	使用ワクチン	予約方法
集団接種 （香芝市）	保健センター 総合体育館	モデルナ社製	電話、LINEまたは FAX（聴覚に障がいのあるかた）
個別接種 （医療機関）	各医療機関	ファイザー社製 （注）	各医療機関の指定する方法
大規模接種【大阪】 （国：防衛省）	堺筋本町会場（八木ビル） 北浜会場（日経今橋ビル）	モデルナ社製	Web、LINEまたは電話
広域接種 （奈良県）	奈良会場（奈良県文化会館） 中和会場（奈良県産業会館）	モデルナ社製	2月中旬より受付開始予定 詳細は県ホームページをご確認ください。

（注）ワクチンの入荷状況により、今後はモデルナ社製を使用する場合があります。

◆接種券

前倒しにより、2月より追加接種の対象となる65歳未満のかた（令和3年8月末までに2回目接種を終えたかた）の接種券は発送済です。

今後の発送予定は右表のとおりです。

2回目接種を終えた月	接種券発送予定月
令和3年9月	2月中
令和3年10月	3月中
令和3年11月	4月中

◆追加接種時の副反応

厚生労働省のQ＆Aでは、2回目接種後と比較して、副反応はおおむね、同様であるとされています。

詳しくは、「新型コロナワクチンQ＆A（厚生労働省）」（右記QRコード）よりご確認ください。

＊県では、副反応に関する専用の相談窓口を設けています。ワクチン接種後に心配なことがあれば、ご相談ください。

奈良県新型コロナワクチン副反応コールセンター（24時間、土・日・祝日対応可）
☎0120－919－003　FAX 0742－36－6105　✉ nara-vaccine@bsec.jp

◆小児（5～11歳）接種

小児へのワクチン接種を3月以降に開始する予定です。詳細は決まり次第、市ホームページなどでお知らせします。

◆初回（1・2回目）接種

初回接種の予約は、現在、個別接種のみとなりますので、医療機関にお問い合わせください。

特集
認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して
レッツ、オレンジ

◆問合先　総合福祉センター介護福祉課　☎79－7521

○高齢化を見据えたまちづくり

本市の高齢化は着実に進んでおり、国の基本方針に基づき、状況に応じた高齢者施策を策定・推進する必要があります。

本市では、平成12年より3年ごとに介護保険事業計画を策定してきました。昨年3月策定の「高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画」では、『健康で自分らしく過ごせる毎日のために』を基本理念に掲げ、各種施策を展開しています。

人と人、人と資源が世代や分野を超え、つながることで、一人ひとりが生きがいや役割を持って社会参加し、支え合いながら暮らしていくことができる地域共生のまちづくりを進めています。

○認知症高齢者の現状と課題

本市における65歳以上の高齢者、要介護（要支援）認定者及び認知症と診断されたかたの人数は左記のとおりです。

①65歳以上の高齢者
18，196人

②要介護（要支援）認定者
2，681人（14．7％）

③認知症と診断されたかた
1，211人（6．7％）

＊①及び②は令和元年9月末時点、③は令和元年度の数値

＊（　）は65歳以上の高齢者に占める割合

要介護（要支援）認定者の約半数が認知症の診断を受けており、地域共生のまちづくりを進める上で、どのような支援体制を構築していくかが課題です。

○『チームオレンジ香芝』

そのような中、認知症のかたが住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう、〝できるとき〟に〝できること〟を支援する団体、『チームオレンジ香芝』が来年度、発足予定です。半年間の研修を経て、認知症サポーターがチームを組み、認知症のかたやその家族を対象にしたサロンやカフェの開催、見守りなどの活動を行う予定です。チームオレンジは全国各地の自治体で結成されており、その活動はひろがりを見せています。

本号では、チームオレンジ香芝の発足に向け、認知症支援に携わっておられるかたに焦点をあて、その取組内容や現場の様子、担当者の声などを紹介します。

あなたもオレンジの輪に加わってみませんか。レッツ、オレンジ！

できる範囲で、できることを、足りない分だけ、やる

【きっかけ】 親族が認知症になったことを知り、認知症が『他人事』から『自分事』に。その経験を踏まえ、自分が住む地域で何かできることをしようと考え、キャラバンメイトとして、活動を続けています。

【活動内容】 「まずは、認知症についての正しい知識を持ってほしい。」そう話す玉井さん。みずからもキャラバンメイト（講師役）として、認知症サポーター養成講座の企画、開催に携わり、今では地域で30名を超えるかたが認知症サポーターとして、支援の輪をひろげています。

【メッセージ】 認知症サポーターに特別な資格はいりません。〝できる範囲〟で、〝できること〟を、〝足りない分だけ〟サポートし、一緒に支援の輪をひろげましょう。

キャラバンメイトの
玉井（たまい）さん
食に好き嫌いはなし。
趣味はウォーキングを
かねた社寺・遺跡巡り。

やりがいは、その人らしい、その笑顔

【きっかけ】 グループホームを経営したいという夫の想いに賛同。26歳から経営に携わり、現在はグループホームの施設長をしています。

【活動内容】 「その人らしく、笑顔でいてほしい。」そう話すのは、この道20年のベテラン杣本さん。今回は認知症予防教室「かしば！認トレ学校」の様子を取材させていただきました。参加者の皆さまが、和気あいあいと笑顔で体操や学習に取り組む中、参加者に声をかけながら、その様子をそばで見守る杣本さん。教室終了後に話を聞くと、「この教室は週に一回なので、前回としぐさや表情などに変化がないか注意深く見守り、認知症の早期発見・早期対応につなげています。」と力強く語られました。

【メッセージ】 認知症の早期発見や見守りは、地域社会の大きな力に支えられています。みなさんの力を貸してください。

在宅介護支援センターかしの木の
杣本（そまもと）さん
好きな食べ物はチーズケーキと
ラ・フランス。
趣味はドライブと寺院巡りで
ＪＵＪＵの歌が好き。

その人らしく、生活を続けていくために

「子どものころ、習い事の先生が自宅でボランティア活動をしていて、自然とボランティアの機会に触れることができたのが、この仕事に就いたきっかけです。」そう話してくれたのは、川口さん。現在は、香芝市西地域包括支援センターで認知症初期集中支援チームの一員として勤務されています。支援のポイントを聞くと、

「多くのかたは認知症になっても個性や性格といったその人らしさは残ります。大切なのは、その人らしく生活を続けていくために何が必要なのかを、当事者である本人や家族、支援者とよく相談し、一緒に決めることです。」と話す川口さん。

「先回りしてあれこれ決めてしまうと、当事者の考える機会を奪うことになりかねないんです。もちろん、生命を守るため、医療や介護面で先回りすることもあります。重要なのは、すべてを先回りするのではなく、当事者の意思を尊重し、足りない分だけ支援する。困ったときにすぐに相談できる関係、環境を築くことです。」とその想いを語られました。

香芝市西地域包括支援センターの川口（かわぐち）さん
社会福祉士。好きな食べ物はお寿司で、子どもと回転寿司によく行きます（笑）。

「この仕事は自分のライフスタイルにあっていたんです。」そう話してくれたのは、高木さん。今、取り組まれていることを聞くと、

「居宅訪問のほか、『わくわく楽くうる』や『認知症サポーター養成講座』、『家族介護教室』といった各種教室、講座の企画運営全般に携わっています。また、認知症家族の集いの場にも参加し、相談に応じています。さまざまな企画を通じて、そこに新たな人と人のつながりが生まれ、支援の輪がひろがることが一番のやりがいです。回数を重ねるうちに、これまで少し距離のあった参加者から「また来るよ」と声をかけてもらえるのは、この仕事ならではの喜びです。」と話す高木さん。

「コロナ禍で人と人のつながりが希薄になりがちですが、こんなときだからこそ工夫を重ね、新たなつながりを生み出していけるよう、今は取り組んでいます。」とその想いを語られました。取材当日は認知症サポーター養成講座で実施されている寸劇の様子も実演していただきました。

香芝市西地域包括支援センターの高木（たかぎ）さん
（写真左）　看護師。写真は道に迷っているお年寄りに道案内をする寸劇の様子。

その悩み・気づき、教えてください

「介護関係の仕事をしていた母の話を聞くうちに、自分も人の役に立ちたいと思うようになり、今に至ります。」そう話してくれたのは、北澤さん。話を聞くと、

「認知症は勘違いされやすい病気です。〝何もできなくなる〟や〝すべて忘れてしまう〟と思われがちですが、そうではありません。早期発見・早期対応により症状を緩和したり、進行を遅らせたりすることができます。」と話す北澤さん。

「〝新聞受けがたまっている〟や〝季節外れの服を着ている〟など、家族や身のまわりの人の変化に気づいたときは、匿名でもいいので、地域包括支援センターに連絡してください。地域社会の気づき、見守り、そして行政への橋渡しが認知症の早期発見・早期対応には欠かせないんです。」とその想いを語られました。

「退院後の支援がしたくてこの仕事に就きました。」そう話してくれたのは、辰巳さん。昨年4月より香芝市東地域包括支援センターで、認知症初期集中支援チームの一員として勤務されています。仕事内容を聞くと、

「〝家族が認知症だと思うので病院に連れていきたいが、本人が行きたがらない〟や〝どこの病院に連れていけばよいかわからない〟などの相談が寄せられます。病院受診にはコツがあって、健康診断などの際に併せて認知症の検査をすることをおすすめしています。病院は専門外来のある病院を案内しています。状況確認のためご自宅にお伺いし、医療・介護の提案をすることもあります。早期に専門のネットワークにつなげることが、とても大事なんです」と語られました。

オンラインで認知症サポーター養成講座を開催されているお二人の様子。

1人で抱え込まず、まずは最寄りの地域包括支援センターに相談してください。

主任介護支援専門員の北澤（きたざわ）さん（写真右）
好きな食べ物は豚のしょうが焼き。休日は家族と食事や買い物にでかけ、家族サービスにいそしんでいます（笑）。

香芝市東地域包括支援センターの辰巳（たつみ）さん（写真左）
保健師。休日は御朱印集めを兼ねて寺社巡り、たまにミュージカル鑑賞も。抹茶が大好物。

～認知症になっても、住み慣れた地域で、安心して過ごせる毎日のために～
まずは相談！！あなたの応援団が、近くにいます

認知症サポーター養成講座

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かい目で見守る応援者のことです。認知症サポーターになるために、講師であるキャラバンメイトから、「認知症ってどんな病気?」「認知症になったらどんな症状が出るの?」「どんな対応が望ましいの?」など、認知症に関することを学ぶ講座です。

認知症初期集中支援チーム

認知症になっても本人の意思が尊重され、出来る限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように、医療・介護・福祉の専門職がチームとなって支援や相談を行います。

チームオレンジ香芝

認知症のかたが住み慣れた地域で暮らしていけるよう、「出来るときに」「出来ることを」支援する団体です。ご自身のペースにあわせて活動していただきます。

皆さまのご参加、お待ちしています。

認知症サポーターステップアップ講座

◆**日時** ３月から月１回程度の木曜日
◆**対象** 市内在住で、講座修了後はチームオレンジとして活動できるかた
◆**申込** ３月１日までに各地域包括支援センターに電話にて申込

〈香芝北 / 香芝中学校区のかた〉
香芝市中央地域包括支援センター　☎79−0802
＊在宅介護支援センターかしの木で24時間相談受付が可能（☎79−6700）

〈香芝西中学校区のかた〉
香芝市西地域包括支援センター　☎71−3201
＊24時間相談受付が可能

〈香芝東中学校区のかた〉
香芝市東地域包括支援センター　☎71−3120
＊24時間相談受付が可能

ご相談は
高齢者の身近な相談窓口
地域包括支援センターへ

高校生の本棚

１１／５（金）～２／２（水）

市民図書館

選んだ本を自作の紹介用 POP を添えて展示する「高校生の本棚」は、若い世代に図書館をより身近に感じてもらうための、香芝高校とのコラボ企画です。３期に分けて実施し、香芝高校の図書委員３２名が選んだ計２５６タイトルの本が図書館の一角を飾り、その様子はテレビや FM で放映・放送されました。

消防出初式

１／８（土）

ふたかみ文化センター

新春を飾る恒例行事として、消防出初式が行われました。消防団の活動は、消火活動のみならず、地震・風水害時の救助救出活動や住民への防火指導など多岐に渡り、地域になくてはならない存在です。集結した消防団員は、市民の厚い信頼と期待に応えるべく、防災力向上に向け、決意を新たにしました。

二上山博物館企画展と関連事業

１２／１８（土）～２／１３（日）

ふたかみ文化センター

市制施行３０周年及び平野塚穴山古墳史跡公園開園を記念し、「飛鳥の王陵と平野塚穴山古墳ー平野塚穴山古墳の被葬者を推理するー」をテーマに、今年度３回目となる企画展を開催しました。期間中には、関連事業として橿原考古学研究所共同研究員を講師に招き、「キトラ・高松塚古墳の壁画の描き方についてー割付けと絵具ー」を題材にした講演会を行いました。

国際交流啓発パネル展

１／７（金）～２／２０（日）

市民図書館

スイス出身の国際交流員（CIR）によるパネル展を開催しました。特設展示場には、スイスの公用語や食文化、四季の移ろいなどに関するパネルや写真、本が数多く並び、訪れた人は興味深く見入っていました。クイズ形式の子ども用パネルも用意され、パネルをめくりながら楽しむ姿が印象的でした。

そして未来へ

◆問合先　市役所生涯学習課　☎44－3339

新たな門出

1月10日、成人の日。本市で31回目となる成人式を開催しました。この日は寒さも和らぎ、晴れ渡る青空の下、768名の新成人が、色とりどりの振袖や羽織はかま、真新しいスーツに袖を通し、会場に集まりました。

昨年と同様、感染症拡大防止のため校区ごとに分け、2部制での開催となりました。また、マスクの着用、検温・消毒の実施など、感染症対策を十分に行った上で式典を執り行いました。

コロナ禍で会いたくても会えない日々が続いていましたが、この日は記念写真を撮るなど、旧友との再会を懐かしむ様子が見受けられました。新成人の顔にはマスク越しでもわかる笑顔があふれていました。

成人式の舞台裏

一生に一度しかない成人式の晴れの舞台で、司会進行や成人のあいさつなどを務めた14名の新成人がいます。

成人式実行委員の想いを、カタチに

成人式をよりよいものにしたい、思い出に残る日にしたいという想いのもと集まった14名の成人式実行委員。7月に初めての実行委員会が開かれ、初日はこれまでの映像や写真を見て、それぞれがどのような式典にしたいかを考えました。そこから

２０年分の感謝、
令和４年　香芝市成人式

計４回の実行委員会を通じて、それぞれの役割や企画を考え、恩師のビデオメッセージの作成などを行いました。前日のリハーサルでは、本番をイメージして立ち位置や式の流れを入念に確認し、納得がいくまで最終調整を行いました。

今日という日を、最高の思い出に

いよいよ迎えた当日。

「ただ今より、令和４年香芝市成人式を開式いたします」

成人式実行委員の進行で式がスタートしました。これまで準備してきた成果を発揮し、恩師紹介や記念品の授受などを堂々とこなし、滞りなく式を進めていきます。

実行委員が代表して述べた、「これから先、多くの困難に直面することもあると思いますが、今まで苦楽を共にした友人や家族と共に乗り越え、成長していきたいです」、「一つ一つは小さな、されど、当たり前ではない目の前の体験を噛み締めて、日々を過ごしていきたいと思います」という〝成人のことば〟には、20年分の感謝の気持ちと、夢と希望を胸に未来へ進もうという想いが込められていました。

コロナ禍で、香芝・香芝東中学校区と香芝西・香芝北中学校区の２部制に分けての開催となりましたが、実行委員の想いがカタチとなった記念すべき今日という日は、最高の思い出として人生の一ページに刻まれたことでしょう。

二十歳の抱負

成人式実行委員の皆さまに二十歳の抱負を聞きました

市民ペンリレー ◆46◆

住みよい香芝

服部　成子さん

私が香芝に住むきっかけとなったのは夫の転勤でした。異動が多い職種のため長くはいられないと思っていましたが、気づけば23年が経ちます。新しい環境への引っ越しは不安でいっぱいでしたが、近所のかたがたが温かく接してくださり、娘たちと同年代の子どもも多く、とても安心を得て気持ちが落ち着いたことを思い出します。

香芝では2つの地域に住みました。最初の所では子供会の行事が活発に行われ、季節ごとの活動、地蔵盆やだんじりといった古くからの行事もたくさん体験させてもらいました。その中で多くの人との交流があり、道で出会えば挨拶を交わせる人が増えていくことがとても嬉しかったです。子供会は子どもたちはもちろん、親の私たちにとっても楽しみでした。

今住んでいる所は閑静な住宅街で、春には美しい満開の桜、夏には新緑芽吹く雄大な山々が見え、自然を目にする機会も多く、越してきて良かったと思う日々です。

夫は小学生のときに家族で香芝に移住しました。私たち家族がこの地を選んだのも、夫の両親の勧めがあったからです。同じ香芝に住んでいるといってもそれほど近くはないのですが、それでも、子どもたちが小さいころは毎週のように習い事の送迎をしてもらったり、困ったことがあるとすぐに駆けつけてくれました。夫を仕事へ送り出した後、3人の子どもたちと過ごしていた私にとって、そんな2人の存在はとても心強かったです。

両親は今も元気で2人で暮らしています。いつも前向きで、バイタリティあふれる姿にはまだまだ教えてもらうことばかりです。

小さかった娘たちも大きくなり、かわいい孫にも恵まれました。コロナ禍が落ち着き良い気候になったら、両親や子ども、孫たちと香芝の自然を眺めながらお散歩に行きたいと思います。

次回は二階堂さんにリレーします。

香芝検定のこたえ
①　逢坂一丁目～逢坂七丁目

市制施行と同時に尼寺一丁目～尼寺三丁目とともに新町名となりました。それまでは大字逢坂、大字尼寺でした。②は昭和62年2月に、③は昭和61年5月に、④は昭和50年7月に新町名となりました。

☆編集後記☆

特集記事の作成にあたり、認知症のかたやそのご家族の支援に携わっておられる皆さまに取材をさせていただきました。

取材を進めるうちに、認知症は他人事ではないことを実感しました。印象に残っているのは「大切なのは、足りない分だけ支援すること」というお言葉です。認知症の支援というと、先回りしてあれこれするイメージでしたが、そうではないことを知り、正しい知識をもって支援にあたることがいかに大事かが分かりました。

オレンジの取組、出来ることからはじめます。

＜温咲＞

パパッと簡単クッキング！ No.83

塩昆布で簡単調味

水菜ゆず風味漬け

（1人分　12kcal）

【材料（2人分）】

水菜…80g
ゆず…1／6個
塩昆布…4g
A［砂糖…小さじ1／3、塩…少々、ゆずしぼり汁…小さじ2］

【作り方】

①水菜は洗い、よく水気をきる。3㎝の長さに切る。
②ゆずの皮は、薄くむき2㎝くらいのせん切りにする。汁は絞る。
③ボールにAを合わせる。塩昆布、ゆずの皮、水菜を混ぜ、手でしっかりともみ込む。
④重し（小皿3枚程度）をのせ、途中2，3回混ぜながら約30分置き、皿に盛りつけて出来上がり☆

＊ゆずは、皮をむき、汁を絞って、それぞれ別にして冷凍保存可
＊ゆずがないときは、他の柑橘類で代用可

＊レシピ協力：食のサポーターかしば
食のサポーターかしばは、より良い食生活を自ら実践し、住民に広めていくために活動をしているボランティア団体です。

現在の様子

平成３年

香芝市は、令和３年10月１日に市制施行30周年を迎えました。

30周年を記念し、今年度の今昔アルバムは、街並みや風景だけではなく、行事や出来事などのさまざまな変化を振り返る特別版としてお届けします。

また、皆さまからの写真の提供もお待ちしております。

国道１６５号

大阪市北区を起点とし、御堂筋に重なり、三重県津市までつながる国道165号は、本市の東西を貫く重要な幹線道路です。

昭和２０年代後半にできたこの道路は、本市の経済活動や地域の発展になくてはならない道路であり、これまで大阪から橿原神宮や伊勢神宮への参拝にも利用されてきました。

拡幅工事完成予想図（穴虫交差点付近）

国道165号の中でも特に交通量が多く、混雑度が高い傾向にある穴虫～大阪府柏原市までの2.8㎞の道路は、交通の円滑化を目的とした拡幅工事（４車線化）が進められています。

広告

広告

広告

広告

発行／香芝市役所　編集／秘書広報課　〒639-0292 香芝市本町1397番地　☎0745(76)2001　FAX0745(78)3830
✉info@city.kashiba.lg.jp　★市ホームページ(http://www.city.kashiba.lg.jp/)でも広報かしばをご覧になれます。

＊広告及び広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。また広告主である事業者及びその内容について市が推奨等をするものではありません。
＊広告掲載の申込みや問い合わせは、大光宣伝株式会社（☎0120-540-888）へ

環境保全への取り組みを奨励し、環境にやさしい「大豆油インキ」を使用しています。
PRINTED WITH SOY INK